

よき幼稚園 (一)



お茶の水女子大學
附屬幼稚園主事

及川 ふみ

昭和二十四年度の前半は、幼稚園の先生はじつも認定講習のために、多くの時間を費した。教育原理、児童心理學、などの純理論より、或は保健體育、音樂、圖畫工作等の各専門的の教科、或は保育內容に至るまでそれぞれの學習に精進した。先生達のこの單位習得については、物心の兩面に多大

の負擔であつたことは云うまでもない事であり、このため健康を損ねたものなども出來た位でもあつた。わけても幼兒たちや、その家庭の人たちにも直接間接に迷惑をかけた事を相

すまなくも考えるわけではあるが、しかし當局のねらいのすべてが先生たちの質的向上をめざして、幼兒たちのための「よき幼稚園」をつくる意圖の外には何もないわけであつたのでろう。

この「よき幼稚園」についてしばらく考えて見ることにしたい。

幼兒が元氣に、樂しんで來る幼稚園には幼兒が健康であると云うことが第一にあげられるであろう。

幼兒の健康について先生はいかになすべきかについて考えてみるのに……

設備環境は幼兒の健康に重要な役割をもつてゐることは今更いうまでもない事であつて、適當の廣さをもつて、明るく日當りのよい保育室、ならびに運動場をもつてすることは最も、のぞましい状態ではあるが、施設については一人一人の先生が直接に關係することが少いのでこれを論ずるのは別の機會にして、與えられた保育室、遊園についてといふ條件のもとで。

保育室は出来るだけ明るくすること

南向きの日當りのよい保育室は一番のぞむところであるがこんなよい部屋ばかりをもつてない場合もあるだらうから、部

そはじめ健全な保育の實際であつて「よき幼稚園」がこれによつて生れ出る所以でもあるのであるまいか。

屋の色、その他のものなど明快な感じのあるものにする。明るい色は氣持の上で幼児の健康の上に役立つものである。

保育室の換氣

ことに冬季は保育室の換氣について、よりよき注意が大切である。大勢の子供の集合しているところであるために普通の状態よりも早く室内の空気が汚されるためもあり、又大人よりも成長盛りにある子供たちには、ことさらに新鮮な空気が大切であるという事はいうまでもないことである。しかしこれが實際に充分留意されているか、どうかについて見て見たい。遊びや唱歌、お話を製作に夢中になつて、幼児を指導している熱心な先生に時々この換氣の點で忘れられる時がないではなかろうか。

保育室の清潔整頓

朝、始業の前、幼児の歸宅後の清掃は云うまでもない。遊びの後、食事の前後など汚され易い時には手まめに掃除することである。

運動場の清潔整頓・運動具の破損修理

運動場は幼児たちが活潑な活動をするところで汚れも一段と多いわけであるから、清掃も時々なされなくてはならない。運動器具の破損の修理なども早めに見つけて、幼児たちの運動に危険を伴わない様に、ことに氣をつけることである。

保育室、運動場の清潔整頓、運動器具の修理などは直接に幼児の健康に大きな影響をもつていて、先生自らのなすべき部所であることを忘れてはならないと思われる。

朝の視診

掃き清められた保育室に、樂しそうに、にこにこして入つてくる幼児を見る朝の幼稚園は何とも云えない氣持である。先生はこの一人一人の子供について健康について朝の視診を忘れてはならない。元氣の點、顔色、眼の様子、など保健衛生の時間に教えられた。朝の視診の諸要點について、實際に行つてみるとことである。これによつて幼児の病氣の早期発見、傳染病の豫防等に役立つことが多い。ことに月曜日、及び休日の翌日には殊更に丁寧に朝の視診が行われなくてはならない。日曜日或は休日には家族連れの遠足、或は來客などのため、過度の疲労、睡眠不足、暴飲暴食などのことから病氣におかされている場合があるためである。

子供達の健康のためのよい習慣

○手洗い

登園直後の手洗い、用便の後、食事の前、作業の後、歸宅の前等で、幼児自身で手を洗う習慣をつけること。

これには幼児が手を洗うために便利な施設があることが気づ第一の條件である。保育室内に水栓のあることがのぞましい。流しの高さが幼児の身長に適して、樂な姿勢で充分に手を洗うことの出来る用意があれば最もよいことであつて、手を上手に洗うこと、手の内外の両面の汚れをよくとること、水道の水の出し方、手のふき方等、始めは手を洗うことについての指導が一つの仕事と考えられてよいのである。手をよく事についても、小さいハンカチでは水氣もよくとれない上

に、ぬれたハンカチをいつもさげてることになりそのまま砂場へなど出ると、たちまちハンカチも汚れてしまうので家庭から手拭をもつて来ておくことも一つの方法である。流しの近くに手拭掛けを作つておくことなどもその一つである。

保育室には必ず水栓のあるわけでもない。水栓のあるなしによつて手を洗う場所や器についても實行の方法を各園に応じて考へることである。結局幼児に手洗いを實行させるのにはそれだけの環境を作つておくと云うことに歸着する。

○うがい

登園後、食後等うがいの習慣、これには年少の幼児たちには特に指導が必要である。上手にうがいの出来るまで幾日かかかるつて指導することである。歯ブラシを食後に使用することは望むところであるが經濟的の面で實行出来ない時にはうがいを充分にさせることである。

○爪をきること

爪をきのばしておくことは何よりも傳染病その他の病原となることである。爪の垢の中に多數のバイキンのあることをよく幼児たちに理解させておくことは大切な點で、實際の方法としては爪がのびているかどうかと云うことについて毎週、月曜日か又は別の何曜日かを定めて一齊に調べて見ることも爪を切るよい習慣の一つとなるのである。

○鼻汁をかむこと

鼻汁を出すことははづかしいことであることを教えて、部屋に備えつけてある紙で左右の鼻孔を片方一つづつおさえて

かむこと、はな紙をする場所などにつしてもよき習慣のつかまで指導すること。

○用便の時

用便の度數は幼児によつて多少の差はあるが、始めの間は大體時間を定めて用便のきまりよくする習慣をつけることである。

○偏食をさけること

幼稚園給食、或はお弁當によつて幼児の偏食は是正されるものである。

○厚着をさけること

ここに適度をすぎると汗を出してかえつて風邪を引くことになる。これ等は夏から秋、秋より冬に向う季節が適當の時期と思われる。

傳染病の豫防と處置

幼児のかかり易い傳染病に麻疹、水痘、百日咳、耳下腺炎とびひ、ジフテリヤなどあるが、麻疹の他は誰もが経過しなくてよい傳染病であるから、出来るだけこれ等の豫防につけめたい。不幸にして罹病したものがあつた時には、その幼児だけに止めたいため、その豫防に充分注意して傳染の憂がなくつてから登園することに保護者との間に約束をしておくこと、尙それぞれの病氣について休園の日数などについて豫め家庭にそれを通知しておくことである。併て入園前の病歴の調査表も幼稚園に備えておくべきである。とにかく幼稚園が傳染病の媒介所であるといふ汚名を受けないだけの用意

をすることである。

以上は健康について幼稚園、先生、幼児のすべき三つの立場について考えてみたのであるが、これらの實行の面では家庭の協力によらなくては、出來ないものであるから家庭の協力について考えて見ることにする。

健康について家庭の協力

今日の新らしい保育では健康第一であること。何故に幼稚園殊に年少幼児については、特に健康保育に幼稚園が重點をおいているかの點について、保護者の理解と協力を求めるべきである。幼兒期にあつては身體的發育の旺盛なる時期である爲にこの期において充分の發育をはかることが何よりも第一にする目標であつて、健康の爲のよき習慣、手洗い、うがい、爪を切ること、鼻汁をかむこと、用便、偏食、厚着等は幼稚園の數時間の生活よりもむしろ家庭における生活時間の多い間によりよき習慣がつけられるのであるからこの點について保護者の理解と協力を望むのである。

このためには新入園直後に於て保護者會或はP.T.A.の集りによつて健康のための保育の重要性、健康のためのよき習慣への協力の説明をすると同時に、園醫など、その道の専門家の講演などによつて一層健康の重要な点についての強調をはかるべきことである。

身體検査表の通知

定期的の身體検査書の報告によつて、幼児の身長、體重などの有様を同年令のものの標準數との比較などによつて、こ

の年令期の身長、體重の發育の度に異常の有無をしり、これ等によつて病氣を未前に豫防することも出来るものである。又身長體重を月月に調査し、そのグラフを保育室にかかけて幼児が自身でこの表を見て、自分の成長の有様を見ることも一つの方法でもある。

(1) (四五頁より)
日常生活に人手が必要が、時々自分でする。

好き嫌いがある。
一人で登園するが道草をする。
氣がむくと片附ける。
物は興味のある時だけ大事にする。
お金で買う興味がある。

(2)
日常生活にいつも人手がいる。
用便を道にする。又度々しくじる。
いつも遊びっぱなし。

物を忘れたり、失したりする事が多く。

(3)
日常生活に人手がいる。
清潔にされることを嫌がる。
夜尿症がある。
送り迎えが必要。
危険な振舞が多い。